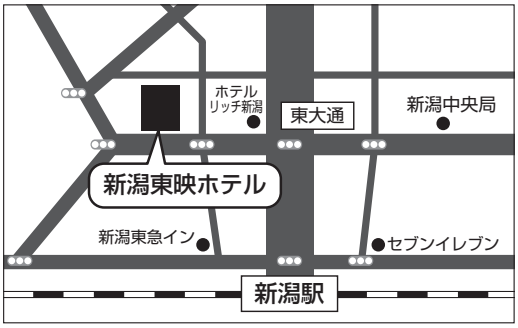
～子どもたちを放射能汚染から守るために～

内部被ばくについて学ぼう

内部被ばくは外部被ばくに比べて数百倍もリスクが高いといわれています。
食べ物から被ばくする？　呼吸から被ばくする？
暫定基準値内なら、ほんとうに大丈夫？
原爆症認定集団訴訟の裁判でも「内部被ばくの危険性」について
証言している矢ヶ崎名誉教授のお話をぜひ聞いてください。

日　時　2011年12月10日(土)
10時～12時

会　場　新潟市弁天町東映ホテル
１階白鳥の間



演　題　「こどもたちを内部被ばくから守ろう」

講　師　矢ヶ崎克馬さん（琉球大学名誉教授）

（プロフィール）
1943年東京生まれ。
琉球大学理学部教授、琉球大学極低温センター長、日本学術会議物理学研究連絡委員会委員、琉球大学学生部長、琉球大学理学部長、琉球大学大学院理工学研究科長等を歴任。
2003年より原爆症認定集団訴訟で「内部被曝」について証言を行う。
2011年５月20日、衆議院国会審議 科学技術特別委員会「放射線の健康影響について」参考人招致にて説明・質疑。
2011年５月27日、参議院国会審議 第17回予算委員会 参考人招致にて説明・質疑。
著書に『力学入門』1994　『隠された被曝』2010
『小出裕章　矢ヶ崎克馬　3・11原発事故を語る(書きおろし・内部被曝の危険　矢ヶ崎克馬)』2011

参加費　500円
駐車料　無　料

主　催　福島疎開裁判判決前夜アクション
inにいがた実行委員会

連絡先　長谷川　090-3476-1597
ふくしま集団疎開裁判に関するブログ
http://fukusima-sokai.blogspot.com/